

専門職向け公開講座

地域ケアの実現に向けて 第 26 回

“認知症街ぐるみ支援ネットワーク”の目的は介護者、病院、行政、ボランティアなどのネットワーク作りを行い、認知症のご本人やご家族を支える仕組みを作ることです。

この講座では介護や福祉、医療に携わる方々に学習と交流の機会を提供し、いっそうの地域連携を進めることを目指しております。皆様のご出席をお待ちしております。

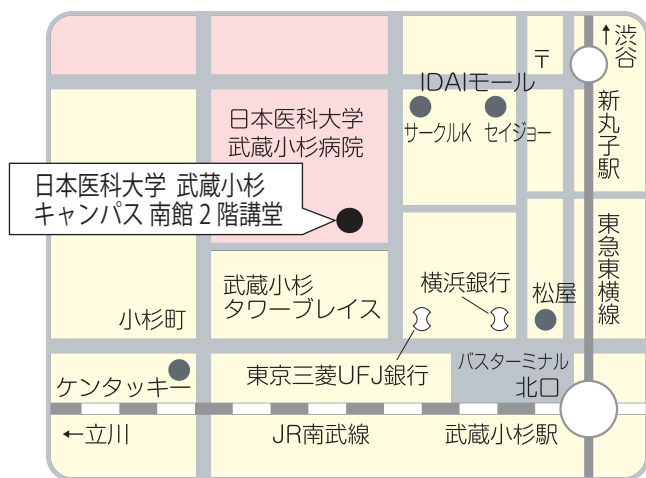
アルツハイマー病の 血管性因子と血管性認知症

横浜総合病院 臨床研究センター
ながた けん

講師：長田 乾 先生

わが国の認知症高齢者は既に 400 万人を超え、その半数以上を占めるアルツハイマー病の予防や治療法の開発が急がれています。最近の病理学研究によれば、認知症高齢者ではアルツハイマー病の病理に加えて脳血管病変やレビー小体などが併存する複合病理所見が多く存在します。また、疫学研究の結果から、中年期の高血圧、高コレステロール血症、糖尿病、心房細動、鬱血性心不全などはアルツハイマー病の発症リスクを高めることが明らかにされています。2011 年に発表された NIA-AA の診断基準では、変性疾患であるアルツハイマー病の病態においても、高血圧、糖尿病、高脂血症などの血管性危険因子すなわち生活習慣病は増悪因子とされ、教育歴や就労などの認知予備能は防御因子と見做されています。アルツハイマー病の根本治療薬が未だ登場しない現時点においては、血管性危険因子の厳格な管理が認知症の予防や進行抑制の最も有効な方法と考えられています。

Map



<http://www.nms.ac.jp/ig/soudan/>

日時 平成 29 年 6 月 7 日 (水)
18:30 ~ 20:30

場所 日本医科大学武蔵小杉キャンパス
南館 2 階講堂

定員 50 名 お申込先着順
※お申込方法は裏面をご覧ください。

参加費 無料

共催：日本医科大学 武蔵小杉病院、イーザイ (株) 後援：川崎市

公開講座 地域ケアの実現に向けて 第26回

参加申込書

受講票を5月24日以降、順次お送り致します。

FAX 044-733-6688

ご記入の上このまま送信下さい

メール soudan@nms.ac.jp

下記内容をメールでお送り下さい

(ふりがな)

お名前

連絡先 電話 (勤務先)

FAXで受講票を
お送りします。
正確にご記入下さい

FAX

電子メール

職業 医師 看護師 介護支援専門員 保健師
社会福祉士 その他 ()

勤務先

- 今回のテーマについて質問や聞いてみたいことをお書き下さい

●会場のご案内

日本医科大学武蔵小杉キャンパス 南館 2階講堂
JR 南武線、東急東横線・目黒線 武蔵小杉駅北口
より徒歩 2分

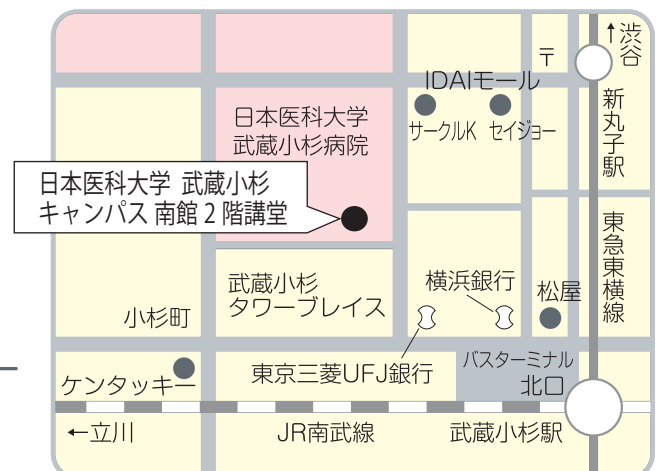
●お問い合わせ

日本医科大学  街ぐるみ認知症相談センター

住所 〒211-8533 川崎市中原区小杉町 1-396

TEL : 044-733-2007 FAX : 044-733-6688

mail : soudan@nms.ac.jp



<http://www.nms.ac.jp/ig/soudan/>